itami 伊丹市

阪急阪神ホールディングス株式会社

PRESS RELEASE

平成２７年１１月９日

伊丹市 と 阪急阪神ホールディングスによる協働事業

「伊丹市安全・安心見守りネットワーク事業」に関する協定締結について

１,０００台規模の防犯カメラを用いたインフラ整備は「日本初」

＜内容＞

伊丹市（市長：藤原保幸）と阪急阪神ホールディングス株式会社（社長：角和夫）は、子どもや認知症高齢者の位置情報を、家族ら保護者に通知するサービスを実施するにあたり協定を締結します。

伊丹市は「住み続けたいまち伊丹」の実現を図るため、犯罪の抑止効果を高め、安全・安心なまちづくりを推進しています。また、阪急阪神ホールディングスでは、幅広い世代の方に、安全で安心して暮らしていただける沿線・街づくりをめざしていることから、グループの阪神電気鉄道が展開する「登下校ミマモルメ」の仕組みを活用し、「伊丹市安全・安心見守りネットワーク事業」として協働事業を実施することになりました。

ビーコン※小型無線受信器を取り付けた防犯カメラ「安全・安心見守りカメラ」を伊丹市内に設置し、子どもや認知症高齢者の位置情報を、家族ら保護者に通知するサービスを１，０００台規模の防犯カメラを用いたインフラを整備して行う事業は「日本で初めて」となります。

※ ビーコン･･･小型の無線技術を活用した発信装置

主な事業内容と役割分担について

①事業内容

伊丹市内各所に整備した、ビーコン小型無線受信器を備える１，０００台の「安全・安心見守りカメラ」は、子どもや認知症高齢者が携帯する、小型の発信器の電波を捕捉し位置情報として保護者に知らせます。また、子どもや認知症高齢者等が行方不明になり捜索が必要な場合は、保護者の捜索要請に基づき、捜索に協力するボランティア市民に、行方不明者の写真や位置情報を提供したり、対象者が近くにいると、捜査協力者のスマートフォンに知らせたりするアプリケーションを開発します。

②伊丹市の役割

・１，０００台の「安全・安心見守りカメラ」の整備
・ボランティア市民の募集、啓発活動

③阪急阪神ホールディングスの役割

・アプリケーションの開発
・伊丹市安全・安心見守りネットワーク事業の運営
・加入促進

④サービス開始

２０１６年３月（試験運用開始）

【添付資料】

補足資料「さらなる安全・安心により『選ばれるまちへ』」

＜お問い合わせ先＞

伊丹市安全・安心施策推進班　TEL:072-784-8120　FAX:072-780-3531　担当：桝村・中西

阪急阪神ホールディングス　グループ経営企画室　広報部　TEL:06-6373-5092